



目次 -Contents-

1	講習会・講演会情報	2
2	建築士事務所キャンペーン 基調講演 概要 「～石炭100年の嵐 山本作兵衛の世界～」 田川市石炭・歴史博物館館長 安蘇 龍生 氏	3
3	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告 概要	10
	課題	11
	審査講評	14
	受賞作品紹介	15
4	建築士事務所キャンペーン 新聞掲載のご報告..	17
5	表彰関係	19
6	第 9 回 常任理事会議のご報告	20
7	各支部よりお知らせ	21
8	賛助会よりお知らせ	27
9	会 員 動 静	28
10	事務局よりお知らせ	29

建築士定期講習・管理建築士講習のご案内

一級・二級・木造建築士定期講習

●平成25年 2月13日(水) 【受付……平成24年12月17日(月)～平成25年 1月25日(金)】

※[建築士会](http://www.f-aa.jp/) (TEL: 092-441-1867) にて受付いたします。
ご注意ください。

管理建築士講習

●平成25年 2月19日(火) 【受付……平成24年 11月19日(月)～平成25年 1月25日(金)】

《お申込書の配布方法》

- 1. (財)建築技術教育普及センターのホームページよりダウンロードが可能です。

ホームページ: <http://www.jaeic.or.jp/> (左記URLをクリック)

- 2. (社)福岡県建築士事務所協会 窓口にて配布いたします。

※申込者が定員に達し次第、期間内であっても受付を終了いたします。

建築士事務所キャンペーン 基調講演 《平成24年10月30日(火) 13:00~15:00 (会場：嘉穂劇場)》

今年の建築士事務所キャンペーンは「石炭文化遺産と歴史建物」をテーマに飯塚の嘉穂劇場にて開催致しました。基調講演としまして「～石炭100年の嵐～山本作兵衛の世界」と題し、安蘇 龍生 氏（田川市石炭・歴史博物館 館長）にお話し頂きました。山本作兵衛の炭鉱記録画は、2011年5月に日本で初めてユネスコより世界記憶遺産に認定された貴重な作品群です。27点の作品スライドを中心に、全盛期には全国出炭量の半分以上を占めた筑豊の石炭産業の変遷について、時代背景や人々の暮らしを絡めながら講演頂きました。以下、講演資料をご紹介します。

～石炭100年の嵐～ 山本作兵衛の世界



講師紹介：安蘇 龍生 氏（田川市石炭・歴史博物館 館長）

福岡県の高校で教壇に立つ傍ら、郷土の歴史を研究。1960年代に山本作兵衛炭坑記録画に出会う。平成18年（2006年）、田川市石炭・歴史博物館館長に就任。明治以降の近代化や戦後の復興を支えながら国策で失われた炭坑の風景を人々の記憶にとどめたいという思いを持ち、地元大学と連携して、山本作兵衛炭坑記録画の世界記憶遺産への日本初の登録に尽力。

基調講演 資料

平成24年10月30日(火)

～石炭100年の嵐～山本作兵衛～

はじめに

「石炭100年の嵐」とよく言われますが

1 筑豊の呼称と範囲（資料）

①「筑豊」は、石炭の採掘・運搬・流通に根拠を置く造語

- ・1885（明治18）年11月14日、直方で「筑前国・豊前国石炭坑業組合」成立
- ・1885（明治18）年11月21日、若松に「筑豊五郡坑業組合取締所」開設
- ・1886（明治19）年1月 若松に「筑豊五郡川鑛同業組合」開設

②「筑豊」の範囲は、旧遠賀郡と現在の筑豊を含む

（別紙 資料①）

2 「筑豊」を考える時は、石炭産業の（形成）・（発展）・（展開）・（衰退）・（崩壊）で考察する事～時間的には、1869（明治2）年から約100年と見る（幕末も含めて考察は必要ですが）

（別紙 資料②）

3 山本作兵衛氏は、石炭産業の（発展）～（崩壊）の時期に、石炭産業にかかわった。

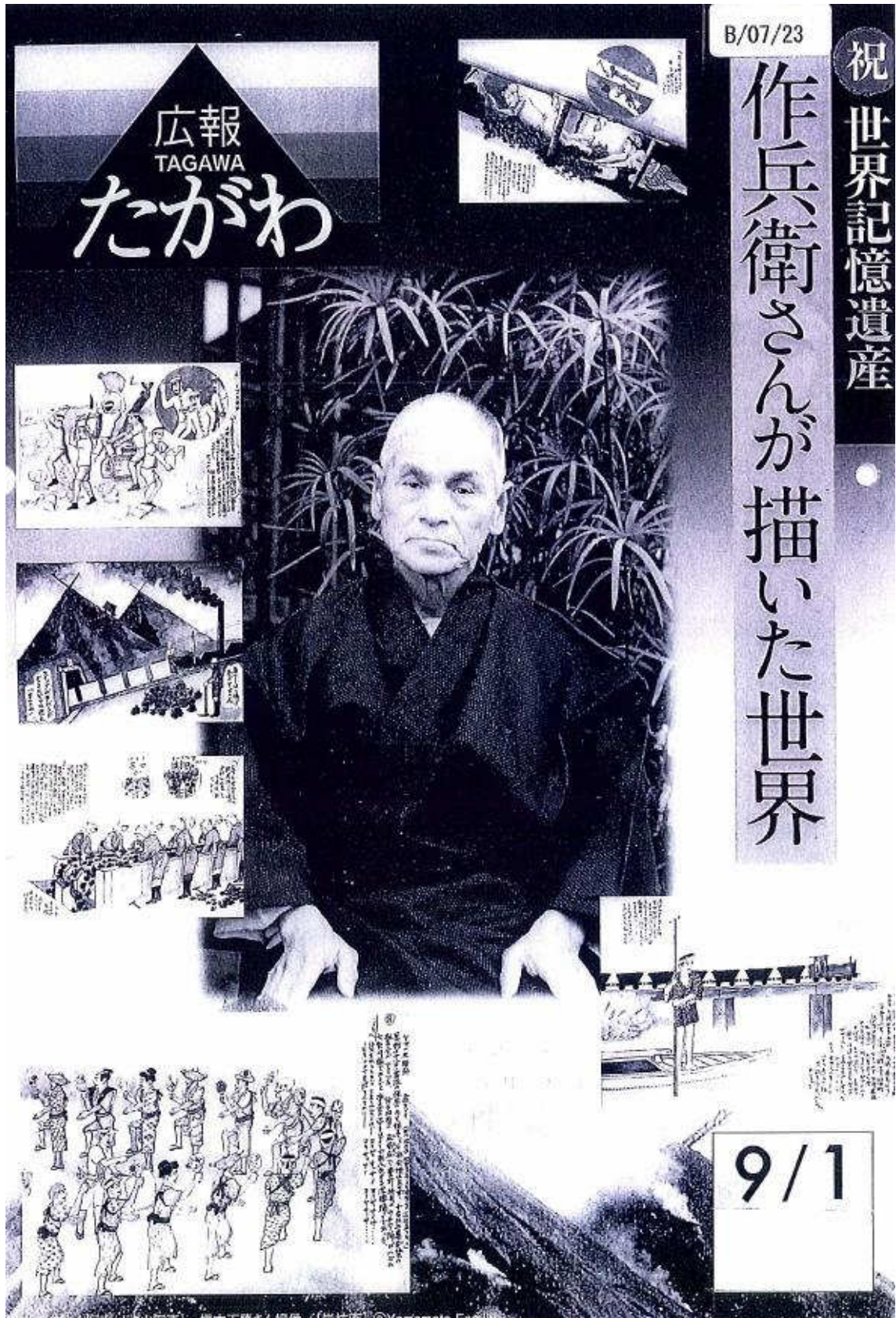
①その中で、主として（発展）・（展開）の時期、とりわけ（発展）の時期に主眼を置いて、炭坑記録画を残した。

（別紙 資料③）

②山本作兵衛氏は、どんな炭坑記録画を残したのでしょうか

（別紙 資料④）

まとめに代えて



地有史くおか

The Liaison Council on Local History of Fukuoka Prefecture

Vol.44 No.1
通巻 第146号
平成22年10月15日

〒812-8651
福岡市東区箱崎
1丁目41番12号
福岡県立図書館
郷土資料課内
福史連
TEL.092-641-1126

編者 藤野 誠 編集 藤野 誠

《筑豊》史論への一石

安 藤 能 生

新政府は、明治二年鉱山開放の布告をし、以後の諸政策の展開は、石炭採掘分野でも近代化への端緒となった。《筑豊》の開発は、無秩序な小坑乱立から始まった。福岡県は、明治十八年「石炭坑業人組合準則」を制定、遠賀郡・鞍手郡・嘉麻郡・穂波郡・田川郡の各郡に、同業組合を組織させた。明治十八年（一八八五年）十月二十四日から十一月十四日にかけて、この

この史実から、《筑豊》という造語は、石炭の採掘・運搬・流通に根拠を置くことは明白と言える。

五郡の組合を統合する会合が、直方において断続的に開催された。難航の上ようやく統合が実現し、《筑前国・豊前国石炭坑業組合》が誕生した。同年十一月二十一日、先に決定していた若松取締役所を取締所と改めて《筑豊五郡坑業組合取締所》の看板をかかげた。管見するところ、造語《筑豊》が、正式に使用されたのはこの時である。翌年一月、《筑豊五郡川樹同業組合》が結成され、若松の坑業組合取締所の隣に事務所が開設

された。さらに、《筑豊》外への石炭積み出しの当初の拠点は、遠賀川の河口芦屋と遠賀川と人口運河《堀川》で繋がっていた洞海湾の若松港であった。また、一部小倉も含むこの下流域周辺には、炭坑も点在していた。つまり、《筑豊》とは、自然地理的には、福智山系・英彦山山系・馬見古処山系に囲まれた盆地であり、各地の七二本の河川は遠賀川に合流する流域であった。当然ながら堀川で繋がる洞海湾域もその範疇と見るべきである。以上の事を要約すれば、《筑豊》は、「石炭」と「遠賀川」の二つの要因があつた概念であり、造語《筑豊》の発生も歴史の必然とも言えるのである。炭坑閉山以後、約四〇年を経過し、生活圏としての《筑豊》

は旧遠賀郡域を除外した日常になつている。しかしながら、旧産炭地《筑豊》地域は、旧遠賀郡（今日の八幡・戸畑・若松と中間市・遠賀郡域）を包含する範囲で考察する必要がある。

図2

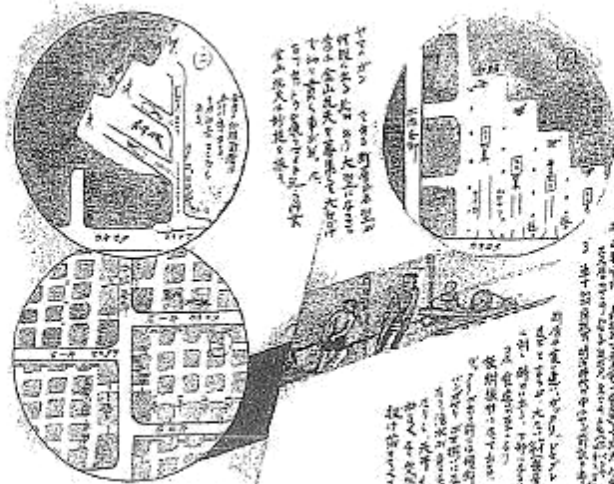


図1



作兵衛さんが描いた世界

「残柱と長壁の折炭方式」



「残柱と長壁の折炭方式」は、明治中期から大正、昭和前期までの炭坑の様子を描いています。採炭方式でいうと、そのほとんどが「残柱式」と呼ばれる、明治から大正にかけての方法を中心に描いています。

作兵衛誕生と明治期の筑豊炭田

山本作兵衛さんが生まれた1892年（明治25年）は、筑豊炭田の出炭量が100万tを突破した年です。そして、わずか3年後（明治28年）には倍の200万t、そのまた3年後（明治31年）には300万tと、筑豊炭田の出炭量は軒並み増加していき、全国

出炭量の半分を筑豊炭が占めるようになります。

日本最大のエネルギー庫としての筑豊の地位が確立されたこの時期に、筑豊の地で産声をあげた山本作兵衛さんにとって、炭坑とかわらない生活を送ることは、不可能だったに違いありません。事実、作兵衛さんは7歳の頃から兄とともに炭坑の仕事を手伝うようになり、早くも炭坑とかわっていきま

す。日清・日露両戦争を経て、石炭の重要性が益々高まっていく中、1908年（明治41年）、作兵衛さんは山内坑で先山となり、一人前の炭坑労働者として、炭坑に従事していきま

石炭採掘の変遷

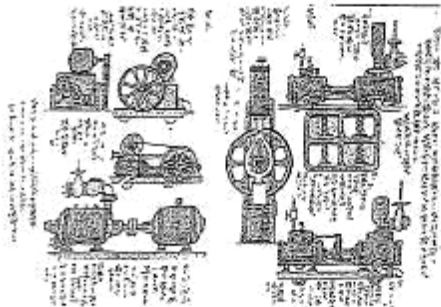
田川市記念公園に残る野坑樽と二本煙突も、このころ築造されたものです。しかしながら、作兵衛さんは最後まで大手炭坑に従事したことはなく、筑豊の中小炭坑を点々と移っていき、渡り歩いた炭坑は21を数えるといえます。

作兵衛さんが描いた記録画は、明治中期から大正、昭和前期までの炭坑の様子を描いています。

「残柱式」は、天井の圧力を分散させるために、炭柱を残して炭層を採掘する方法です。記録画の中で、男性と女性が二人一組となり、傾斜のついた炭層を人力で採掘している様子がそれぞれ。

この「残柱式」は、石炭をある程度残す必要があり、また通気の循環が制限されるため、大手の炭坑では明治末ごろから、「長壁式」という方法に転換していきま

「ポンプいろいろ」



が、機械を導入した本格的な「長壁式」の採炭方法が描かれているのはほんの数点に過ぎず、ほとんどが「残柱式」の説明であることは、作兵衛さんが大手の炭坑に在籍せず、比較的中小の炭坑に従事していたためです。

炭坑の機械

筑豊の炭坑では、1881年（明治14年）、目黒炭坑（現長峰市）で初めて蒸気ポンプ（スベンナルポンプ）による揚水が成功しました。以後筑豊の炭坑では、多種多様な機械を積極的に導入していきま

炭坑記録画とその背景

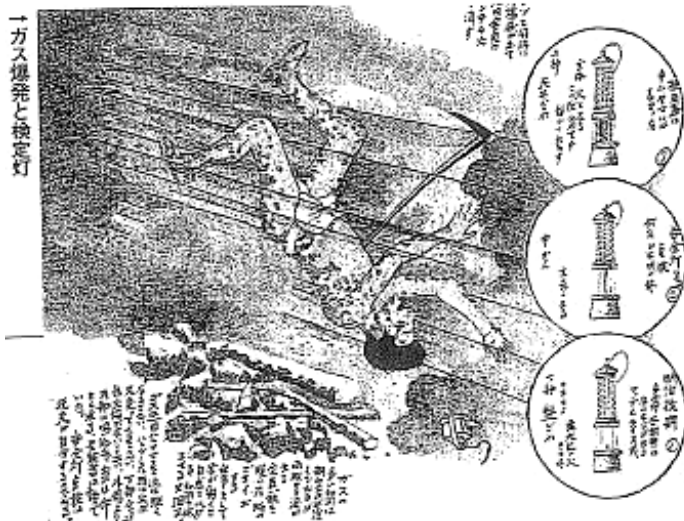
広報 TAGAWA

たがわ

作兵衛さんが生まれた明治期は、本市をはじめとする筑豊炭田が日本最大のエネルギー産地として注目を浴びた時代です。作兵衛さんの記録画の背景に迫ります。

平成23年9月1日
(2011年)

NO.1318



一ガス爆発と検定灯

機械を非常に細かく描写していることが大きな特徴です。ネジに至るまでの細部の描写はもちろん、ポンプや巻揚機などの動力が、蒸気から電気に変遷する過程を詳細に描いています。導入当初は日本において最新式だったスベシヤルポンプについても、作兵衛さんの時代では性能が悪い旧型品として紹介されています。明治期の機械の写真類があまり残されていない現在において、機械に詳しい作兵衛さんの詳細な解説は、炭坑記録画の記録性の高さを表しています。

炭坑の災害

地中深く掘り進む炭坑の仕事は、危険な災害と隣り合わせでした。炭車の衝突や落盤事故をはじめ、筑豊のヤマでは、地下水の流出、ガス爆発、炭塵爆発の大災害にしばしば見舞われます。各炭坑では、災害を事前に予防する安全策がとられてきました。これは、幾多の炭坑災害の経験によるものであり、発生原因の調査研究から、事故の予防策が講じられてきました。

炭坑記録画の代表的なものに、ガス爆発の場面があります。これは事故の悲惨さを描写しているのみならず、安全灯によるガス検定をも説明しています。1989年（明治32年）6月15日、豊田炭坑（現糸田町）で発生した、死者210名を出すガス爆発事故は、標火のカンテラ（坑内照明具）によるガスの引火が原因であることがわかっています。

の対処法として、後に火を曲った安全灯で、ガスの量を検定するようになったというところを解説しています。ちなみに安全灯は、その後開発が進み、多くの型式が作り出されていきます。そして一般的には、昭和に入ると帽子にランプを取り付けた電気のキャップランプに変わっていき、したがって、作兵衛さんの記録画で、キャップランプを被る人物が登場するのは、主として昭和前期の場面を描いていることとなります。

炭坑の保安と生産は両輪の輪。大事故を教訓に、炭坑の災害を未然に防ぐ技術が開発されていく様子を、炭坑記録画は説明しています。

大正時代と米騒動

大手炭坑で築造された大型炭坑により、大正時代に入ると筑豊炭田は成熟期を迎えます。このころ作兵衛さんは、麻生系の炭坑や製鉄所直営炭坑で、鐵冶工や探炭夫として働いて、炭坑の経験を積んでいきます。

1914年（大正3年）に特許した第一次世界大戦により、日本は好不況の波にさらされます。もちろん、経済事情に大きく左右される石炭産業も同様です。1918年（大正7年）7月、暴騰する米



一米騒動

価に対し、富山県で烽火があがった「米騒動」が全国各地に飛び火し、日本近代史上の大事件となりました。米騒動は炭坑にも波及し、筑豊でも同年8月、峰地炭坑（現添田町）で賃上げ要求が暴動に転じたのが契機となり、筑豊各地にも広がっていきます。作兵衛さんの炭坑記録画で、筑豊のヤマで起こった米騒動が枚数をかけて取り上げられていることは、作兵衛さん自身の関心の高さを表しています。実際、作兵衛さんの兄も米騒動に加担したという理由で3カ月ほど拘束されており、作兵衛さんも米騒動の渦中に巻き込まれていたようです。

歴史の教科書にも記述されるよ

うな日本史の一コマが、作兵衛さん自身が実際に体験した出来事として記録画に描かれていることが、今回の世界記憶遺産登録において、歴史的な真正性が担保された大きな理由となりました。

昭和の筑豊、そして閉山へ

1940年（昭和15年）、太平洋戦争開戦前後の増産運動により、全国5,631万トン、筑豊2,049万トンと、史上最高の出炭量を記録します。この年、作兵衛さんは日鉄一派出張所所長炭坑（現嘉麻市）から、位谷炭坑（現田川市）へ転坑し、生活の場を田川へ移します。

戦争が激化するにつれ、石炭の増産が重要課題となる一方で、若い労働力が戦争にとられるという矛盾が生じた中、熟練の技術者として、作兵衛さんは位谷炭坑の経営を支えます。

終戦後、日本復興のエネルギーとして石炭が重要視され、筑豊の炭坑も息を吹き返しますが、昭和20年代から始まったエネルギー革命や石炭不況の影響で、筑豊のヤマは次々と閉山していきます。作兵衛さんが在籍した位谷炭坑は比較的小規模なヤマであったため、1955年には閉山してしまいました。それに伴って、作兵衛さんの約半世紀に渡る長い炭坑生活も幕を閉じました。

昭和30〜40年代、ヤマの灯が消えゆき、ボタ山などのかつての風景が失われていく中、作兵衛さんは筑豊炭田の記憶を後世へ残そうと筆をとり、炭坑記録画の制作にとりかかったのです。

山本作兵衛翁の略歴

- ・ 1892 (明治25) 年5月17日 福太郎・シナの次男。父福太郎は川船船頭
- ・ 1898 (明治31) 年4月 (6歳) 立岩尋常小学校入学
- ・ 1899 (明治32) 年8月 (7歳) 5月 一家で上三緒炭坑に移住。兄と共に炭坑の仕事を手伝う
- ・ 1900 (明治33) 年3月 (8歳) 弟生まれる、その初節句の祝いにもらった加藤清正の人形を繰り返し写生
- ・ 1901 (明治34) 年 (9歳) 忠隈炭坑に移る。1ヶ月で南尾炭坑に移る
- ・ 1902 (明治35) 年 (10歳) 一家で豆田炭坑に移る、上三緒炭坑に移る
- ・ 1903 (明治36) 年 (11歳) 立岩尋常小学校卒業、飯塚高等小学校入学 (在校80日)
- ・ 1904 (明治37) 年 (12歳) 山野炭坑、4月南尾炭坑、5月山内炭坑へ
6月鶴嘴鍛冶に弟子入り (14歳4月まで)
- ・ 1906 (明治39) 年 (14歳) ①山内炭坑 (父兄と入坑、後山スラを引く)
- ・ 1908 (明治41) 年 (16歳) 山内炭坑で先山となる、②単身で古河下山田炭坑
③金剛炭坑④長谷炭坑⑤網分炭坑 (採掘夫)
- ・ 1909 (明治42) 年 (17歳) ⑥山内炭坑 (先山)
- ・ 1911 (明治44) 年 (19歳) ⑦一家で上三緒炭坑 (父、納屋頭)
- ・ 1912 (明45・大正元年20歳) 難聴などの理由で兵役免除、11月 九州鉄道小倉工場 (鍛冶見習い)、以降炭坑に戻るまでの間、鍛冶工の技術と完治の読み書きをノートに筆写して覚える
- ・ 1915 (大正4) 年 (23歳) 1月 小倉工場退職、3月 八幡製鉄 (鍛冶工、6日間で退職)
⑧上三緒炭坑 (仕操夫、兄の後山)
- ・ 1916 (大正5) 年 (24歳) 1月 タツノと結婚、⑨麻生赤坂炭坑 (機械鍛冶)
- ・ 1917 (大正6) 年 (25歳) ⑩神之浦炭坑 (鍛冶工)、⑪5月 上三緒炭坑 (坑外修繕方の後山)、⑫8月 網分炭坑 (火夫・鍛冶工)、⑬11月 山内炭坑 (鍛冶工)
- ・ 1918 (大正7) 年 (26歳) ⑭椋本炭坑 (鍛冶工の横座)、⑮8月 飯塚炭坑大徳三尺二坑 (鍛冶工の横座) ⑯9月 山内炭坑 (鍛冶工)
- ・ 1922 (大正11) 年 (30歳) ⑰製鉄所二瀬中央炭坑 (鍛冶工)、⑱6月 山内炭坑 (鍛冶工の横座)、⑲11月 赤坂炭坑 (採掘夫)、⑳12月 二瀬出張所稲築炭坑 (鍛冶工・17年間)
- ・ 1940 (昭和15) 年 (48歳) 9月 稲築炭坑を退職、10月 21番目の炭坑、猪位金村 (現田川市) 長尾鉱業所位登炭坑 (採炭係) (約15年間就労)
- ・ 1955 (昭和30) 年 (63歳) 1月 位登炭坑閉山により解雇、同所資材警備員
- ・ 1957 (昭和32) 年 (65歳) 2月 弓削田長尾本事務所の宿直警備員 (日記の余白部分や広告紙の裏などに炭坑の絵を描く) (1964年、退職)
- ・ 1958 (昭和33) 年 (66歳) 炭坑の記録画を画用紙と墨で描く (38年まで)
- ・ 1961 (昭和36) 年 (69歳) 山本務、長尾達生が作兵衛の炭坑画を発見、出版へ
- ・ 1963 (昭和38) 年 (71歳) 9月 「明治大正炭坑絵巻」出版 (前年、永末十四雄と1964年上野英信、菊畑茂久馬と出会う)

世界記憶遺産となった炭坑記録画585枚のモチーフを分類すると、次表のとおりとなります。

■ヤマの暮らし

(単位:枚)

題材	墨画	水彩画	計
大納屋・炭住	2	3	5
生活の取締	1	2	3
売勘場	2	2	4
ヤマの燃料	2	3	5
飲料水	5	3	8
浴場	1	2	3
娯楽	16	7	23
夫婦	3	4	7
ヤマの悪党	2	1	3
広島坑夫	3	2	5
ハガマ坑夫	5	4	9
ウサギ坑夫	2	1	3
ヤマの訪問者	17	28	45
ヤマの喧嘩	9	6	15
ヤマの信仰	9	5	14
ヤマと狐	13	6	19
ヤマとネズミ	2	1	3
ヤマの風俗	1	0	1
ヤマの助け合い	3	3	6
ヤマの子供たち	6	24	30
ヤマの青年団	1	1	2
ヤマの忌み事	9	6	15
ヤマのミセシメ・リンチ	8	6	14
明治時代と戦争	12	7	19
ヤマの米騒動	18	16	34
戦時下の行事	4	0	4
(計)	156	143	299

■炭坑内外の労働

(単位:枚)

題材	墨画	水彩画	計
シバハグリと狸掘り	0	3	3
母子入坑	2	2	4
児童女性労働	1	2	3
坑内事務所	1	2	3
坑内役人	1	1	2
仕線	22	16	38
掘進と断層切抜き	9	3	12
採炭と運搬	13	15	28
運搬・女坑夫	21	14	35
盗掘防止	1	1	2
掉取と信号	8	7	15
ヤマと馬	5	3	8
ケントリ(間取り)	2	1	3
捲揚・排気	2	2	4
坑内大工	2	1	3
上三緒炭坑遠景	0	1	1
山野ヘナンバでカマ運び	1	2	3
通気排気の仕組	5	1	6
選炭	1	3	4
函待ち	1	1	2
脱線・重圧	3	4	7
坑内火番	2	1	3
坑内の鉄管	4	2	6
ポンプ方	6	3	9
勘引	2	1	3
ヤマの鍛冶屋	1	2	3
石炭輸送	1	4	5
変災	7	4	11
昭和の炭坑	26	34	60
(計)	150	136	286

3

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技 結果報告

平成24年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。

今年は高等学校の部4校より計48点、専門学校生の部(高専1校を含む)5校より計65点のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が10月30日に嘉穂劇場にて行われました。

また10月24日～30日の期間、コスモスコモン1階展示スペースにおいて作品の展示会が開催されました。



経 過

- 平成24年 3月30日 関係校へ課題を通知、応募期限を9月10日とする
- 9月10日 提出校、高等学校の部4校、専門学校生の部5校(高専1校含む)
- 9月26日 福岡建設会館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
- 10月30日 嘉穂劇場において表彰式開催
- 10月24日～10月30日 コスモスコモン1階展示スペースにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 河野泰治 (社)福岡県建築士事務所協会顧問
- 福岡県建築都市部長
- 福岡県教育長
- 北九州市建築都市局長
- 福岡市住宅都市局長
- 飯塚市建築住宅課長
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長
- (社)福岡県建築士会会長
- (社)日本建築家協会九州支部長
- (社)福岡県建築士事務所協会

協 賛

- (一財)福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県
- 福岡県教育委員会
- 北九州市
- 福岡市
- 飯塚市
- (社)福岡県建築士会
- (社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

本年度の課題は、高校生の部、専門学校生の部で異なる課題となりましたが、計画趣旨は何れも現代社会が抱える問題を今後の社会を担う生徒、学生たちに考えていただき、企画・提案いただく内容でありました。

応募いただいた作品は限られた時間の中で作成されたにもかかわらず、創造力に富んだ秀作が多く、審査会では多くの審査員の先生方が悩み、優秀作品の選定では活発な議論も交わされました。

この設計競技が建築士を志す生徒、学生達のステップの場となり新たな製作意欲の向上に繋がることを切望いたします。

最後に参加していただいた生徒、学生諸君とご指導いただいた先生方に御礼申し上げますとともに、公私ともご多忙のなか審査戴きました、河野審査委員長はじめ、関係諸庁、各団体のご協力に心より御礼申し上げます。

(社)福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
委員長 岩本 茂美

平成24年度 課題 進化する住宅

計画趣旨

少子高齢化の進む我が国では、どのような住まいのかたちがふさわしいのでしょうか。
住宅を建てる時、両親や子供の成長を考慮したプランニングをしますが、子供も独立し巣立っていった後は、夫婦だけの生活となります。
これからの時代は、生活環境の多様化に応じた住宅が求められます。
快適で安全・安心な空間、エコロジー、省エネルギーを考慮し、住み慣れた地域で可能な限り生活したいと思う、両親の希望に応えられるような、時間を計画に組み込んだ「進化する住宅」を設計してください。

計画条件

- 1) 敷地
 - 面積……300㎡～350㎡（形状は自由）
 - 用途地域……第一種住居地域（容積率200%以下、建ぺい率60%以下）
 - 前面道路……幅員6m以上（方向、植樹、歩道等は自由）
 - 条件……福岡県内でコンセプトに合った場所を想定すること。（形状は自由）
 - その他……電気、上下水道、ガス等の附帯設備は完備されている。
- 2) 建物
 - 用途……専用住宅
 - 構造……木造2階建て以下とする。
 - 所要室……上記条件の中を含む
 - 注意事項……コンセプトは明確にすること。
 - 延床面積……150㎡（±10%）
 - 条件……両親と高校生の男子、中学生の女子の4人家族
 - 駐車場……上記条件の中を含む
- 3) 提出図面
 - 用紙……当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し、横書きとする。
 - 提出内容……
 - ・設計コンセプト：『進化する住宅』にふさわしい名称をつける。
 - ・配置図（1/300）：駐車場（2台）、庭の計画も含む（植樹、菜園等）
 - ・平面図（1/100） ・立面図（1/100）：2面以上 ・断面図（1/100）
 - ・外観パース：まちなみ及び敷地内の計画をすべて含む
 - 条件……必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付は自由、着色は自由。図面には必ず面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と
応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	37点
浮羽工業高等学校	〃	4点
戸畑工業高等学校	〃	2点
福岡工業高等学校	〃	5点
計 4校		48点

個人賞

● 知事賞	福岡工業高等学校	2年	富永 恭平
● 福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	2年	牧 龍汰
● 飯塚市長賞	福岡工業高等学校	3年	板谷 良明
● (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	福岡工業高等学校	2年	白石 吏希
● 会長賞	有明工業高等専門学校	3年	服部 忠
● (社)福岡県建築士会会長賞	戸畑工業高等学校	3年	一角 善紀
● (社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡工業高等学校	3年	津田 空生
● 金賞	浮羽工業高等学校	3年	堺 善平
● 銀賞	戸畑工業高等学校	3年	島田 貴博
● 銅賞	有明工業高等専門学校	3年	井上 安南
● 佳作	有明工業高等専門学校	3年	奥村 葵
〃	有明工業高等専門学校	3年	木下 慧次郎
〃	有明工業高等専門学校	3年	立野 文
〃	有明工業高等専門学校	3年	川口 健太郎
〃	有明工業高等専門学校	3年	重松 寧
〃	有明工業高等専門学校	3年	森 康貴
〃	有明工業高等専門学校	3年	龍 直未

平成24年度 課題 石炭とエネルギー館

計画趣旨

昭和の中頃（1960年代）まで、日本のエネルギーを支え経済発展の柱だった石炭産業は、筑豊や三池を中心にして福岡県はまさにその資源の宝庫でした。

炭鉱労働者だった山本作兵衛の筆による当時の炭鉱内の絵画697点が、昨年5月に日本で初めて“世界記憶遺産”に登録されました。当時の様子を鮮明に描いた絵と余白に書き込まれた解説文により、筑豊のヤマの情景が蘇りました。

諸君もご承知のように昨年3月11日の未曾有の原発事故は、今後の原子力によるエネルギー事情が一変するような大きな社会問題となっています。いま一度安全なエネルギーの原点である石炭産業の歴史を学び、体験できる展示館を計画してください。

計画にあたっては、地域社会の活性化に向けて、積極的にエコロジーに参加し、未来エネルギーまで楽しく学び、新しい情報を発信できるような体験型エネルギー館を併設した施設を、諸君の若い感性で提案して下さい。

施設計画の概要

- 1) 施設名
地域創造エネルギーミュージアム（各自作品に相応しい名称を付けてみよう）
- 2) 施設の運営
ボランティア主体による
- 3) 施設計画に求められるもの—地域の産業、文化の学習を促し、新たなエネルギーを提案する
 - A—福岡県内の石炭探掘展示と体験スペース（常設 約150㎡）
 - B—石炭と産業（エネルギー利用までの歴史）（常設 約100㎡）
 - C—絵画等のギャラリー（ホールや多目的室を活用する）
 - D—未来型エネルギー展示館（常設 約150㎡）
 - E—地域ボランティアの活動拠点であり、インターネット等による文化発信の施設
 - F—屋外にはテーマごとに楽しめるイベント広場
人々が交流できる憩いの場（公開空地も含む）

計画地の条件

- 1) 所在地 福岡県内の旧炭鉱の所在地
- 2) 敷地面積 3,500㎡（形状は自由）
- 3) 前面道路 3方に接する。主道路 幅員18.0M（車道12.0M、歩道3.0M）
側道 幅員10.0M（車道6.0M、歩道2.0M）
- 4) 土地形状 平坦であり地盤も良好、上下水道完備
- 5) 用途地域 無指定とする。容積率400%、建ぺい率80%

建築条件

- 1) 延べ床面積 1,500㎡程度（±20%）
- 2) 構造 自由
- 3) 階数 自由
- 4) 諸室 A～Eの主要室
＜参考諸室＞玄関、ロビー、受付、事務室、研修室、多目的室、
収蔵室、作業室、便所、機械室等但し、事務職員は3名とする。
- 5) 駐車場 来館者は隣接する公営駐車場を利用することとする。但し身体障害者用（3台）関係者及び搬入車用（5台）を動線を考慮して設置する。
- 6) 外構工事 駐車場の他、Fの広場、又トロッコ試乗コーナー等を提案して下さい。

提出図面

- 1) 用紙 当協会配布のケント紙(B2、縦51.5cm×横72.8cm)を使用し横書きとする。
書き損じの場合は市販の同等品使用のこと。
- 2) 作成図面
 - 設計概要（設計意図、面積表）
 - 配置図（S=1/200又は1/300）、方位を記入
 - 平面図（S=1/200）
 - 断面図（S=1/200）
 - 立面図（S=1/200）、2面以上
 - パース 自由とする（切り貼り可）

応募校と
応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	21点
有明工業高等専門学校(4年~5年)	"	9点
九州職業能力開発大学校	"	3点
福岡建設専門学校	"	26点
福岡デザイン専門学校	"	6点
計 5校		65点

個人賞

●知事賞	福岡建設専門学校	2年	植木麻水
●福岡県教育委員会賞	福岡デザイン専門学校	1年	木野文香
●飯塚市長賞	福岡建設専門学校	1年	山崎佑樹
●(一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	福岡建設専門学校	2年	蒲地悠希
●会長賞	福岡デザイン専門学校	2年	志垣伶奈
●(社)福岡県建築士会会長賞	九州職業能力開発大学校	2年	梶山愛彦
●(社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡デザイン専門学校	2年	田代雄也
●金賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	和田真
●銀賞	有明工業高等専門学校	4年	古賀壮一朗
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	原田あゆみ
●銅賞	有明工業高等専門学校	5年	龍知可
"	九州職業能力開発大学校	2年	渡邊廣大
●" "	福岡デザイン専門学校	2年	明石梨沙
●佳作	有明工業高等専門学校	5年	小宮沙織
"	麻生建築&デザイン専門学校	2年	久保善宣
"	麻生建築&デザイン専門学校	2年	柴田智子
"	麻生建築&デザイン専門学校	1年	荒島日出子

高等学校の部 課題

進化する住宅

専門学校の部 課題

石炭とエネルギー館

今年度の課題は、高等学校の部と専門学校の部で全く異なる。

高等学校の部では、少子高齢化社会での家族のあり方を住宅計画との対応でじっくり考えてみようと呼びかけた課題である。

住宅を建てるにあたって、今の家族の構成とその生活、あるいは数年後だけを念頭に置いた計画が少なからず行われてきたのではないだろうか、という疑問が根底にある。新築後短い期間で子ども部屋が空き部屋になったままの住宅が多く住宅地に見られるが、もっと長期的な見通しをもって、地域とのつながりを強めていこうという家族生活を念頭に置いた住宅を構想しようという呼びかけである。一方で、数十年ともいわれるあまりにも短い日本の住宅寿命を再考すべきではないかとの問いかけでもある。そのためには、エコロジーや省エネルギーに十分配慮した長寿命の建築物とすべきことはいうまでもない。こうして、変化に柔軟に対応しつつ幾世代かに継がれていく住宅像「進化する住宅」が求められる。

専門学校の部では、原発が安全でないことが明らかとなった今日、それではいかんして安全なエネルギーを確保していくかが社会全体と一人ひとりに突きつけられた重い課題となっている。

この課題を具体化して、建築を学び建築業務に携わろうとすると志す専門学校生に対して、若い視点からその構想・取り組みの一端を提起して欲しいという願いが込められた。

かつて福岡県下は、国の主要な石炭エネルギーの供給基地となり、その物的あるいは記憶の遺産は、筑豊や三池に限らず県下のあちこちに堆積している。廃棄されてきた遺跡や面影を貴重な産業遺産として、新たに若い息吹で満たすことによって、産炭地域の活性化に寄与したい。さらに推し進めて、「石炭」をキーにして将来のエネルギーのあり方を発信する基地を構想することをテーマとした。歴史に学びつつ体験・体感できる、いわば「温故知新」の「石炭とエネルギー館」である。

応募は高校48作品、専門学校65作品。審査は福岡県事務所協会の審査委員8名による一次審査で設計・製図の基本と応募要件をチェックし、各36作品、41作品を二次審査対象として選出した。二次審査は、県の建築都市部や北九州市・福岡市・飯塚市などを含む県内の建築団体の役員9名の特別審査委員を加えた23名によって、審査員の推薦数の多い上位作品を対象に協議によって受賞作品を決定した。

高等学校の部 総評

「進化する住宅」という課題の趣旨をどのように受け止め、構想し図面にして提案するか。進化をどう捉えるか—応募者の感性は多様に拡がってゆく。提案の狙い・テーマをどのように定めるかにエネルギーが注がれたであろうことが、応募作品全体から伝わってくる。進化・変転するのは家族構成だけでなく、家族一人ひとりの思いをも伴った家庭生活、地域社会との関係の進化・変転にもあることを多くの作品が示唆している。こうした若者の視点が、多彩な住宅像を提示してくれた。設計のテーマ・主張をどのように展開するかという構想・設計する力に加えて、自分の主張をうまく伝えるプレゼンテーション、製図の技術力にも大きな違いが見られた。上位入選作には課題に対する設計と製図への意欲がみなぎっている。快適で安全、安心な空間とエコや省エネルギーへの配慮は、住宅設計に共通する基礎的な要件となることも押さえておきたい。

専門学校の部 総評

応募作品の計画地で福岡県下の旧産炭地巡りができる。いずれも、物として姿が見える石炭産業遺産と記憶のそれとをよりどころにして、後世へつなぐこと、まちおこしの核にしてゆくことが目指されている。新たにまちの景色・景観を作り出そうとする作品やごく日常に溶け込んだ博物館計画など、若い感性、意気込みが十分に伝わってくる提案に満ちている。近寄りたさを脱却した博物館の提案には、その存在をキラキラと主張するのではなく、まちにそっと挿入されて、成熟しつつある社会・まちの姿を暗示しているようにも感じられる。シャープな平面の金賞、棚田の中の博物館と木造の炭鉱長屋をモチーフにした銀賞の3作品も素晴らしい。プレゼにもう少しエネルギーを注ぎたい。

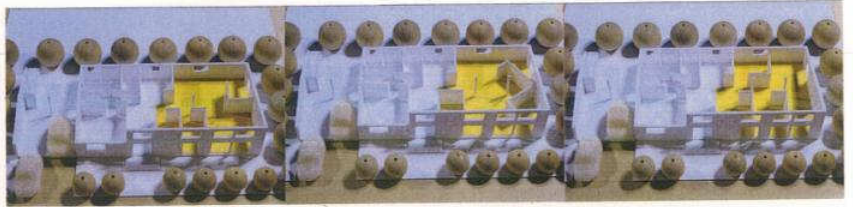
受賞作品紹介

— 高等学校の部 —

知事賞

《福岡県立福岡工業高等学校 建築科2年》 富永 恭平

Craft House



設計上の
おに化のある生活を意識して設計しました。家族構成
が違っても家族の生活スタイルは大きく変化します。こ
の住宅は、その生活スタイルの変化に対応できるように設
計しました。
施工時は種別や用途の大幅な変更や設備増設等が
よく、不慮に固まる材料にサンニア等の建材も存在す
るため、注意の必要はなかった。材料に可動部は注
意を要し、手配りや構造は事前によく確認する必要がある。

種別が変化することで可動部切りを動かし部屋を分
けることもできるように。これは、壁で仕切られてま
た別の空間とすることで、他の部屋を強制的に閉
鎖するのではなく、ユーザーごとの生活スタイルに
合わせて、必要な空間を確保し、必要な設備を
追加することで、生活スタイルの変化に対応するこ
とができる。また、高い天井が設けられているので、
天井が低い部屋よりも開放感がある。また、天井高
の異なる部屋は、天井高の異なる部屋を確保す
ることで、生活スタイルの変化に対応するこ
とができる。また、高い天井が設けられているので、
天井が低い部屋よりも開放感がある。また、天井高
の異なる部屋は、天井高の異なる部屋を確保す
ることで、生活スタイルの変化に対応するこ
とができる。

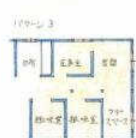
例) 可動部(パーティション)によって様々な生活スタイルを実現できる。



バージョン1
+生活スタイルに合わせて
可動部を移動して
空間を柔軟に変化
させることができる。

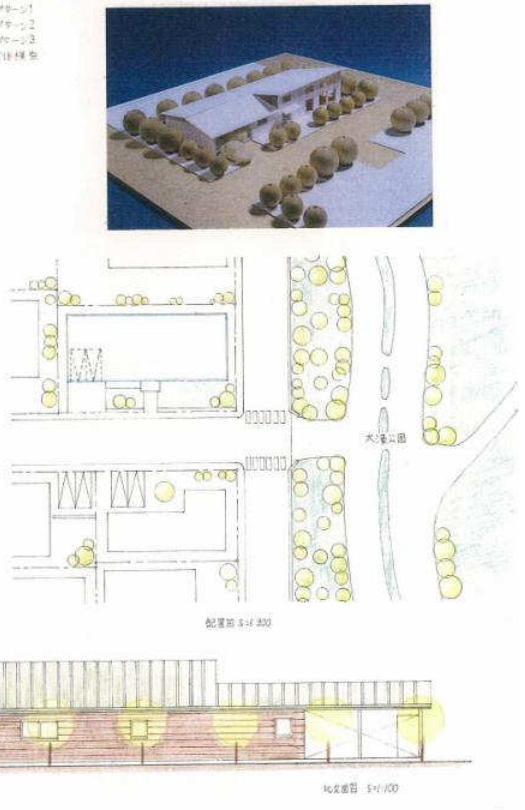
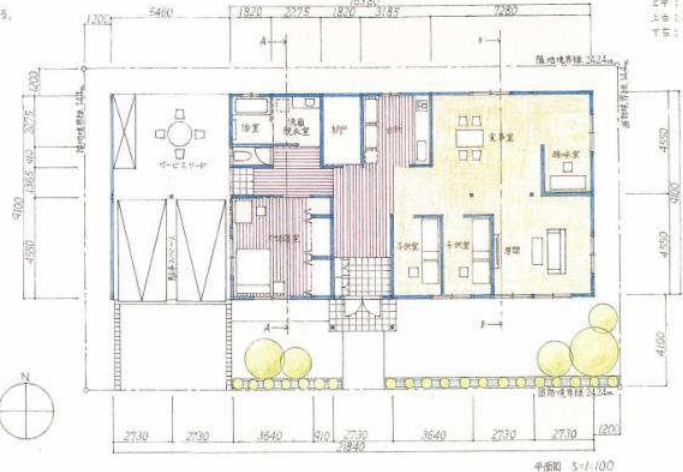
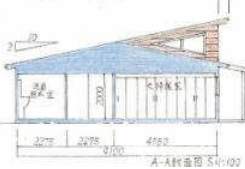


バージョン2
+生活スタイルに合わせて
可動部を移動して
空間を柔軟に変化
させることができる。



バージョン3
+生活スタイルに合わせて
可動部を移動して
空間を柔軟に変化
させることができる。

面積表	
敷地面積	348.05㎡
建築面積	230.08㎡
延床面積	152.94㎡
坪単価	58,181円
総額	4,654万円



講評

夫婦寝室とサニタリー空間は固定して、東半分の大空間を可動間仕切りで子ども室や居間、食事室などにさまざまに空間分化させて、生活の仕組みの変化に対応させる。東西に長いシンプルな長方形の平屋建て住宅を落ち着いた色鉛筆描きの平面バリエーションと模型写真でスッキリと仕上げ、設計趣旨が十分に表現されている。



受賞者コメント

2年生で知事賞という素晴らしい賞を頂いたことに驚きました。
こんなに一生懸命考えたコンペ図面を描いたのは初めてで、まだまだ描き足りないところもありますが、自分の案を評価して頂いたことに感謝・感激をしています。
来年もさらに良い作品をつくりたいと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

【福岡県立福岡工業高等学校 建築科2年 富永恭平】

受賞作品紹介

— 専門学校の一部 —

知事賞

《福岡建設専門学校 建築科2年》

植木 麻水



講評

「田川に来たみんなが『ヤマのにぎやかさ』を思い起こさせるような博物館」「そんな思い出を子ども達に残せたら…思い出が転じて、『田川の未来のエネルギー＝活力』となるかも」という趣旨をそのままに凝縮した手描きのノスタルジックな作品である。とりわけ「みんなの奥山・ボタ山」を望む、メイン展示場とカフェ棟間の「露天軒下市場」のパスには提案意図が映し出されている。作品を丁寧に見ていくと周到に計算されていることがわかる。平面図も手描きにしてしまったらどうだろう。

受賞者コメント

このたびは、知事賞という名誉ある賞をいただき、たいへん光栄です。
 今回の設計競技では、「石炭とエネルギー館」を設計するというもので、私は筑豊を代表する炭鉱のひとつ、田川市で敷地を選びました。炭鉱によって栄えたむかしの情景を、未来を担う子供達へ伝え、新しいまちの活力へとになっていくように、そんな思いを込めて設計しました。協会のみなさま並びに指導いただいた先生方、一緒にがんばったクラスメイトには、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

【福岡建設専門学校 建築科2年 植木麻水】



西日本新聞 10月30日掲載

炭鉱時代の住居紹介

県建築士事務所協会 事務所協 きょう嘉穂劇場で講演

30日午後1時から、飯塚市の嘉穂劇場で「石炭100年の風 山本作兵衛の世界」と題した講演会を開く。田川市石炭・歴史博物館の安藤龍生館長が、炭鉱で栄えた時代の住居などについて話し、炭鉱労働者の生活ぶりや炭坑の様子も紹介する。入場無料。

協会が活動を知っても

らおうと毎年、県内各市の嘉穂劇場で展開している建築士事務所キャンペーンの一環。協会筑豊支部の大野正三支部長(63)は子どもながら、炭住の長屋に住んでいた友人宅でよく遊んでいたという。住めばいいという迫りで、今と違ってプライバシーは守られていなかった。けれど隣近所との親近感、連帯感も強かったと懐か

講義のほか、高校生や専門学校生が「安全安心の住まいづくり」をテーマに考案した設計の表紙も展示する。同協会1092(1号)7673。

(山根孝)

日刊建設通信新聞 11月1日掲載

福岡事協 キャンペーン2012 筑豊通し見識深める

高校生 専門校生 設計競技表彰も

福岡県建築士事務所協会(八島英孝会長)は10月30日、福岡県飯塚市の嘉穂劇場で建築士事務所キャンペーン20

12を開いた。「石炭文化遺産と歴史建物」をテーマに、近代エネルギーを支えた筑豊・飯塚の地を明治、大正、昭和へと石炭産業と密接にかかわりながら変遷してきた筑豊地区のまちの風景や人々の暮らしのあり方に見識を深めた。

第1部では、安藤龍生田川市石炭・歴史博物館館長が、世界記憶遺産に認定された山本作兵衛の炭坑記録画を紹介しながら、「石炭100年の風―山本作兵衛の世界」をテーマに基調講演した。安藤館長は、世界記憶遺産に認定されるまでの苦労話や27枚の作品を丁寧に紹介し、戦後復興を支える中で、国策によって活力が失われた筑豊の石炭産業と、それに携わってきた人々の暮らしを記憶にとどめるために、山本作兵衛の作品に光を当てて意義を強調した。

第2部では、12年度福岡県

内高校・専門学校生による建築設計競技の表彰式が開かれ、県知事賞に選ばれた富永恭平さん(福岡工業高校2年)、植木麻水さん(福岡建設専門学校2年)ら入賞者に表彰状が手渡された。今回の課題は、高校の部が「進化する住宅」、専門学校の部が「石炭とエネルギー館」。

それぞれ48点、65点の応募があった。河野泰治審査委員長は、高校生の部は一課題は難しかったが、面白い提案が随所に見られたと、専門学校の部も「特色ある作品が多かった」と講評した。その上で、「全体的に、思いが図面の裏に隠されている作品が多く、審査員も心して審査する必要を痛感した」と述べた。

入賞者を代表して植木さんが指導に当たった先生に感謝し、「今後は建築業界の一員になれるよう頑張りたい」と謝辞を述べた。

日刊建設工業新聞 11月1日掲載

建築設計競技の 入選者34人表彰

福岡県建築士事務所協会 事務所協会

福岡県建築士事務所協会(八島英孝会長)は10月30日、県内の高校生と専門学校生を対象にした12年度建築設計競技の表彰式を福岡県飯塚市の嘉穂劇場で行い、入選者34人(高校生17人、専門学校生17人)にそれぞれ表彰状と記念品を贈った。写真

建築設計競技は、将来建築士を目指す生徒・学生の育成が目的で、同協会のキャンペーンの一環として毎年行われている恒例の行事。本年度のテーマは、「進化する住宅」。

表彰に先立ち、八島会長は「今回の入選を誇りにし、設計に力を込めて頑張ってください」とあいさつ。引き続き、福岡県と謝辞を述べた。

県土整備部飯塚県土整備事務所仲山繁之建築指導課長が「今回の経験を通じて、第一線で活躍する建築士になつてほしい」と小川洋知事のメッセージを伝えた。

表彰後、審査委員長を務めた同協会の河野泰治顧問は、作品それぞれの論評を行った上で、「一人一人の思いが裏に隠され、それがじわっと伝わる作品が多かった」と講評。

受賞者を代表して知事賞を受賞した福岡建設専門学校植木麻水さんは「これまで以上に勉強に励み、建築業界の一員になれるよう頑張りたい」と謝辞を述べた。

県知事賞の富永さん(左)

県知事賞の植木さん(右)

それぞれ48点、65点の応募があった。河野泰治審査委員長は、高校生の部は一課題は難しかったが、面白い提案が随所に見られたと、専門学校の部も「特色ある作品が多かった」と講評した。その上で、「全体的に、思いが図面の裏に隠されている作品が多く、審査員も心して審査する必要を痛感した」と述べた。

入賞者を代表して植木さんが指導に当たった先生に感謝し、「今後は建築業界の一員になれるよう頑張りたい」と謝辞を述べた。

建築士事務所キャンペーン2012

福岡県建築士事務所協会 高校生らの設計競技表彰式も

(社)福岡県建築士事務所協会 (八島英孝会長) は30日、飯塚市の嘉穂劇場で建築士事務所キャンペーン2012

2を開催。

「石炭文化遺産と歴史建物」をテーマに、基調講演、福岡県内高等学校・専門学校による建築設計競技の表彰式、写真展などを実施した。

国土交通省、福岡県、北九州市、飯塚市、(財)福岡県建築住宅センター、(社)福岡県建築士会、(社)日本建築家協会九州支部らの後援を得て開催したもの。冒頭、八島会長が「多数の来場と関係者の支援に感謝する。今年近代エネルギーを支えた筑豊・飯塚の地、嘉穂劇場での開催を企画した。福岡の歴史的建

行政や建築文化への貢献、人材育成等に敬意を表す」と地元開催を歓迎した。

基調講演の講師には、田川市石炭・歴史博物館長で郷土の歴史研究家の安蘇龍生氏を迎えた。演題は「石炭100年の嵐山本作兵衛の世界」。安蘇氏は筑豊の呼称と範囲、石炭産業の形成、崩壊、山本作兵衛炭坑記録面のユネスコ世界記憶遺産登録の経緯などを説明したうえで、坑夫の住宅など27枚のコレクションを紹介、解説した。

建築設計競技表彰式



では、知事賞に輝いた富永恭平さん(福岡工業高等学校)、植木麻水さん(福岡建設専門学校)らに賞状と記念品が贈られた(受賞者は既報)。設計課題は「進化する住宅」と「石炭とエネルギー館」。来賓を代表して小川洋福岡県知事(代読)、仲山繁之飯塚県土整備事務所建築指導課長

が「受賞作品はいずれも建物の利用者の目線にたっており素晴らしい。建築士は魅力的なまちづくり、地域づくりをも担っている。将来的にその第一線に立つよう、若い優秀な人材に期待する」と受賞者を称えた。協会顧問で審査委員長の河野泰治氏は「設計課題はやや難解だったがユニークで個性的な提案も目立った。パースや平面図、プレゼンテーションに難もみられたが、全体としては、仕上がり図面の表裏から若い設計者の意思が伝わってきた」と講評。受賞者を代表して謝辞を述べた植木麻水さんは「指導いただいた先生方に感謝するとともに、建築界の一員となれるよう頑張りたい」と意欲を示した。

平成24年 建設事業関係功労者国土交通大臣表彰

受賞者

(社)福岡県建築士事務所協会 副会長
今村 日出男 氏



国土交通大臣表彰 受賞報告

この度、(社)福岡県建築士事務所協会より推薦を頂き、国土交通大臣表彰(住宅・建設事業関係功労)を受けました。表彰式は平成24年7月10日午前11時より国土交通省10階大会議室にて式典が行われ、奥田国土交通副大臣より祝辞と賞状、記念品を頂いてまいりました。

去る11月24日(社)福岡県建築士事務所協会県南支部中野 寛支部長、(協)久留米建築設計協会山田 秀明代表理事発起人の基、皆様より盛大な祝賀会を開催して頂き、心より感謝申し上げるとともに厚く御礼申し上げます。

又、八島会長、中野支部長より身に余るお言葉を頂戴し、恐縮しております。

振り返りますと、県南支部の副支部長を4年、支部長2年、理事7年、副会長3年目、建築士会におきましては、柳川支部副支部長を6年と長年建築士事務所協会並びに建築士会の運営活動に従事してまいりましたが、会長他先輩方々に助けられ現在に至っている次第でございます。今回の受賞は、私個人に授与されたものではなく、(社)福岡県建築士事務所協会会員の皆様の長年積み重ねてきた活動に対して与えられたもので、会員の皆様を代表して頂いたようなものでございます。

今後も(社)福岡県建築士事務所協会並びに設計業界発展のお役に立てますよう、一層の努力をいたす所存でございます。今後とも皆様には変わらぬ力添えとご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして私の感謝の言葉とさせていただきます。

【今村一級建築士事務所 今村 日出男(県南支部)】

受賞祝賀会のご報告

日 時 平成24年11月24日(土) 18:00～

会 場 ホテルニュープラザ (久留米市六ツ門町広又16-1)



[日 時] 平成24年11月7日(水) 15:00～17:15

[会 場] (社)福岡県建築士事務所協会 事務局

[出席者] 会長、副会長、常任理事、事務長9名参加

1. 日事連関連、九州・沖縄ブロック協議会関係報告

■ 1：各種会議報告

日事連創立50周年記念・第36回建築士事務所全国大会が終了し、現在次年度の事業計画、予算及び「(仮称)建築士事務所法」の会員事務所、関係団体等への周知について取り組んでいる。

■ 2：各種依頼について

《会誌「日事連」平成25年1月号掲載「年男・年女の初夢」執筆者選定のお願いについて》

■ 3：九州・沖縄ブロック協議会事務局会議開催について

平成24年度事務局連絡会議を平成25年1月26日(土)14時から長崎会事務局で開催される旨の説明がされた。

2. (社)福岡県建築士事務所協会関係

■ 1：中間会計報告及び中間会計監査(11/14)の実施について

平成24年度上半期の会計執行状況及び9月30日時点の資産、負債、正味財産の状態が報告された。尚、今後の予算編成において各委員会事業に必要な予算は確保するように三役、委員会で連携を取り充分に協議するとともに報告、確認を慎重に行うこととする。また、中間会計監査については11月14日(水)15時より事務局において実施する旨報告がなされ、今回は一部の支部会計において処理の仕方に不明な点があり連結が難しいため県本部会計のみで実施することが説明され、承認された。

■ 2：福岡県構造計算適合性判定制度のあり方検討協議会報告

10月29日(月)に福岡県庁において第1回福岡県構造計算適合性判定制度のあり方検討協議会が開催されたことが報告された。今後は2～3社の新規適判機関の早期選定、業務開始に向けて協議を進めていくことが説明された。

■ 3：建築士事務所キャンペーン実施報告

10月30日に筑豊支部、北九州支部主管で嘉穂劇場において実施された建築士事務所キャンペーンの来場者数等の報告がなされ、基調講演には194名、作品展示会には80名参加されたことが説明された。尚、各新聞社で掲載された新聞記事については、PDFデータにより理事、監事にメールにより送付するとともにメールマガジン「建築福岡Monthly」にも掲載することとする。

■ 4：各委員会報告

《会員委員会》

次回新入会員オリエンテーションを平成25年3月8日に実施することとし、次回より公式行事として対象者に参加を義務付けることとする。若手会員や女性会員に積極的に協会活動に参加いただき魅力ある会にするため、当該会員対象の研修会等を企画する部会を会員委員会の下部への設置についても現在検討中であり、次回常任理事会で12月4日開催の委員会での協議結果を報告する。

《指導委員会》

《広報・渉外委員会》

現在ホームページの刷新に取り組んでおり変更箇所の概要が説明された。今後トップページの上部に利用者の利便性向上のため、建築士定期講習、管理建築士講習、開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会、福岡県建築登録センター、当協会主催イベント関係のアイコンを設け、法定講習については年間スケジュールを掲載する等変更案の提案がなされ、協議の結果承認された。今後広報・渉外委員会で予算の範囲内で変更作業を進めていくこととする。

またメールマガジンについて有料広告の募集を来年度開始を目的に準備を進めていき、料金については常任理事会に相談のうえ協議していく。

《教育・研修委員会》

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技について、応募校及び参加者数が減少しているため、対策を年内に常任理事会で方向性を出していただき委員会で検討したい旨要望がだされた。また、見学、研修活動については委員会を開催し、場所、予算書等企画を常任理事会に提出する。

■ 5：九州公共建築フォーラムについて

■ 6：設計3団体意見交換会の開催について

設計3団体意見交換会が11月12日(月)に福岡建設会館で開催される旨の通知が今年度担当の建築士会より届いている旨説明がなされた。

■ 7：設計3団体による顧問弁護士契約について

北九州支部からのお知らせ

建築士事務所協会・建築士会 合同研修旅行のご報告

去る11月17日・18日に建築士事務所協会・建築士会合同の北九州支部 研修旅行が行われました。各団体20名が参加し意義ある研修旅行となりました。参加された皆様ありがとうございました。

見学地

- 1日目…八代市立博物館、未来の森ミュージアム・新八代駅前モニュメント「きらり」・球泉洞休暇村バンガロー
- 2日目…国指定重要文化財 岩屋熊野座神社・球磨工業高校伝統建築コース加工組立室棟



見学レポート

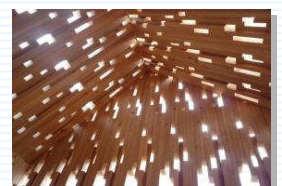
球泉洞(きゅうせんどう)休暇村木造バンガロー「final wooden house」

球磨川沿いに建つJengaのようなバンガロー。350mm角の杉材は迫力があり、床、壁、天井というくくりは無く、床だと思ふ所が椅子になり、壁になり、天井となり、この空間をどの様に使おうかと、使い手に考えさせられます。建築に対する凝り固まった考えを覆す作品です。



球泉洞休暇村木造バンガローR2「Wooden Lace」

先のバンガローの隣に建つ、もう一棟のバンガロー。内部に足を踏み入れると、間隔をあげた短材の列を重ねた壁面にはたくさんの孔が空き、透かし細工のような趣です。絶妙のバランスの上になりたつ構造体の妙を感じさせられます。日中は外光が差し込んで意外に明るく、球磨川の流れる音や鳥のさえずりが響く不思議な空間で、メルヘンな気分にはさせられます。



球磨工業高校 伝統建築コース加工組立室棟

伝統建築を学ぶ工業高校の校舎ということで、木造の大架構の面白さ、光、木的美しさを味わえる素晴らしい木造建築です。しかし学校の先生のお話では、デザインに凝るあまり、コンセントの位置が不便である、照明の電球が自分たちでは変えられない、天井近くの壁に設置された排煙窓は台風時に強風で開いてしまう、などの実用性に乏しい点もあるとのこと。また竣工時より3年程して木組みが開きだしたらしく、今は構造補強のため梁や筋かいが足されていました。

「使い手ありきの建築・建物なので、使いやすく過ごしやすい空間を創り出すのが一番大切だと思う」とお話し頂いた先生の言葉に、身の引き締まる思いがしました。建築とは本当に難しく、奥深い…がんばります。



球磨工業高校

加工組立室棟以外は、左記写真のように円形回廊・屋上テラスで各棟が結ばれています。色、材料、形などバリエーションに富んだ建物は、緑に囲まれた球磨の美しい環境、気候風土を生かし、西風を取り込み、快適な半外部空間が創られています。



八代市立博物館 未来の森ミュージアム

八代城の城下町に建つ博物館。城下町なので元々は平たい土地であったと思われませんが、小高い丘を作りあたかも地下であるように埋められています。またアプローチは真っ直ぐ入口に向かう事が可能ですが、あえて遠回りさせるように折れており、日常から博物館・美術館という非日常へ、気持ちを切り替えさせる手法が取られています。今は一般的ですが、20年も前の当時としては、斬新な建物、考え方だったのではないかと思います。

裏側の円筒形を倒した姿に、学生時代に設計課題で真似たことを思い出し、胸が熱くなりました。

さて、今回見て回った建物は1988年より行われている「くまもとアートポリス」によるプロジェクト施設です。『後世に残り得る優れた建築物を造り、質の高い生活環境を創造するとともに、地域文化の向上を図り、世界への情報発信基地「熊本」を目指すこと』を目的としています。しかし、実際の実用性、使い手の意見を取り入れるよりも「くまもとアートポリス」に当てはまる様にと奇抜なデザインを重視していることもまた事実です。このままでいいのでしょうか？現在工事中の建物もどのように完成し、どの様な評価となるのでしょうか…

普段、個人的に建物を見ることができても、内部まで見せていただけたら、施設の方の説明、本音を聞いたりすることは、なかなかできません。今回、研修旅行に参加し、諸先輩方に施工方法や、建物の良いところ、悪いところ等々いろいろと現地に行き聞くことができたことは、本当に良かったと思っております。これから仕事に対して、建築に対して、更に頑張っていこうと改めて思われました。また、建築とは本当に奥深いことを知りました。

レポート：彩設計工房 高山

11月常任幹事会議事録

日 時 平成24年11月15日（木）18:30～20:30

場 所 トーケン設計

出席者 林支部長、久松、山口、佐々木、佐竹、小野、高崎、藤本

議 題

■① 冬の忘年例会の開催の件（賛助会のPRタイムも含めて）

12月13日（木）西小倉の割烹 三幸 にて例会18時30分より忘年会19時より開催
会費は会員・賛助会員共3,000円 2人目から6,000円とする。
賛助会員のPRタイムを開催する。

■② すこやか住宅法人会員の件

今年度をもって退会する。

■③ 西日本トータルリビングショーの報告

林支部長、久松副支部長に相談員になっていただきました。
来年度は6団体としての参加はしないことが決まりました。

■④ 建築士事務所キャンペーンの報告

筑豊支部と合同の建築士事務所キャンペーンの会計報告があり幹事会にて決定した予算とおりと報告がされた。

■⑤ 建築士会合同研修旅行参加者数及び会費の件

参加者…B.M.設計1、小野設計2、彩設計工房2、AEA設計室1、河野設計1、西部ガス1
合計8名出席

会 費…会員は1社10,000、2人目から20,000円に決まりました。
賛助会員は正会員と同じ扱いとする。

尚次年度は参加者希望者が少なく経費が多くかかるため合同開催は取りやめることが決まりました。

■⑥ 児童絵画展の作品返却の件

作品の返却をして頂いた会員に交通費として2,000円支給する。

福岡支部からのお知らせ

福岡支部 忘年会のご案内

福岡支部忘年会のご案内

向寒の候、貴社ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。
今年も残すところあとわずかとなりました。
福岡支部では毎年恒例の忘年会を下記の通り開催致します。皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。

記

- 日 時 ……平成24年12月14日(金) 18:30~
- 場 所 ……「ガーデンパレス 3F宝満の間」 福岡市中央区天神4-8-15 (TEL092-713-1112)
- 会 費 ……5,000円/1人
☆当日キャンセルの場合は会費分ご請求させていただきます。
- お問い合わせ先 ……(社)福岡県建築士事務所協会福岡支部事務局まで

福岡支部 三役会開催のご報告

下記のとおり、第6回三役会を開催いたしました。

- 日 時 ……平成24年11月5日(月) 16:30~
- 議 題 ……●入退会について
 - 中間会計監査報告
 - 建築士事務所キャンペーン報告
 - 特殊建築物定期調査業務マニュアル
 - 賛助会のPR広告について
 - その他 ・福岡支部忘年会について
・賛助会研修バスツアーについて



「福岡建築倶楽部新年の集い」のご案内

早いもので、建築7団体で共催する年頭恒例の合同新年会のご案内をする時期になりました。
来年も建築倶楽部合同の新年の集いを下記のように計画しています。
例年通り、堅いあいさつは少しにして和やかに、美味しい料理とお酒で新年会を盛り上げましょう。
みなさまお誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参会の程を幹事一同お待ちしております。

記

- 日 時 ……平成25年1月18日(金) 18時30分~
- 会 場 ……タクラホテル福岡
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-7-21
TEL.092-731-1661
- 会 費 ……5,000円/一人(当日ご納入下さい)
- 申 込 ……FAXにてお申込み下さい。
会場準備の都合上、本年12月18日までにお申込いただきますようお願い申し上げます。
なお、当日欠席の場合は会費をご負担頂きます。
詳細は、福岡支部事務局までお問い合わせください。



県南支部からのお知らせ

研修旅行についてのご報告

■ 今回11回目の県南支部の研修旅行で、今回は17名で山口県・萩へ行きました。賛助会員として今回が2回目の研修旅行です。前回初めて参加して広島へ行き、とても楽しかったので今回も楽しみにしていました。山口県・萩は歴史の町として名高く、歴史に興味のある私は史跡、街並み、文化にとっても興味がありました。

さて、萩に行く前に、最初に訪れたのは下関「海響館」。水族館はいくつになってもワクワクします。子供の時に戻った様な楽しい時間でした。特にクジラ骨の標本には圧巻でした。



クジラの骨の標本



山口ザビエル記念聖堂

■ 次に訪れたところは、「山口ザビエル記念聖堂」フランシスコ・ザビエルの功績を讃えて建てられた建築物です。ザビエルは山口県にも縁がある様で、意外と知られていない事もあります。この建築物はとても斬新なデザインで変わっていました。私も含め建築に携わるみなさんは、とても興味深く見学されました。県南支部の研修旅行は建築物の見学も大きな目的でもありますし、とても勉強になります。

萩市内に入りあの有名な松下村塾を訪ねました。有名な伊藤博文・高杉晋作・山形有朋など明治維新の原動力になった多くの人材がここで学んだと思うと、激動の時代に生き、またなかには若くして犠牲となった維新志士に思いを馳せるとともに、今の政治・日本を維新志士たちはどう思っているのか？考えさせられました。最近元気がない日本ですが、元気な日本を取り戻し、次の世代へも引き渡さなくてはならない気持ちになりました。

この時期は萩では、「萩時代まつり」がおこなわれていて、多くの観光客で市内は賑わっていました。毛利家のお膝元ということで、市民が武将などに扮して大名行列が行われるそうです。ぜひ見てみたいと思っています。萩博物館を出たところで、ちょうど見ることができました。



松下村塾



大名行列の様子



高杉晋作像



街並みの様子

■ 午前中雨にみまわれましたが、次第に天気は良くなりましたので、市内を散策することができました。萩市内は、今でも町筋の基盤目状がそのまま残り、よく住持の面影をとどめています。江戸時代の地図がそのまま使えそうです。また重要文化財として、豪商菊屋屋敷・桂小五郎旧邸・高杉晋作誕生地など多くの史跡があります、なまこ壁の土蔵、門、土塀などが並び、この街並みもぜひ後世に残してほしいものです。歴史を感じながら散策できました。

萩は、多くの歴史ある史跡が残り観光地として、市全体が町おこしに力を入れているようでしたし、大変魅力のある町でした。今回11回目、私自身は2回目の研修旅行でしたが楽しい旅行でした。それも本会員と賛助会員が旅を共にして、親睦を深める事ができたからではないかと思っています。今回お世話をしてくださった幹事の方々、旅行を共にさせていただいた本会員・賛助会員の方々に感謝致します。

【平成24年11月 県南支部 賛助会員 坂本 忍】

大牟田支部からのお知らせ

大牟田支部活動のご報告

※第8回幹事会（平成24年11月27日（火）18:30～ 於 事務局会議室）

1. 報告事項

- 1：11月 1日(木)
研修会…ひびきLNG基地～創エネハウス(西区今宿)
- 2：11月 7日(水)
常任理事会
- 3：11月 10日(日)～11月11日(月)
《研修旅行》
大分県緒方町散策(原尻の滝,石仏,旧町役場等)
岡城跡・朝倉文夫記念館
白水の滝・白水ダム・円形分水
- 4：11月 14日(水)
中間監査
- 5：11月 24日(土)
祝賀会…今村日出男氏（国土交通大臣表彰受賞）
久留米ホテルニュープラザ
- 6：11月 29日(木)
会計個別相談会
- 7：11月 30日(金)
講習会…大牟田建築士会・当協会大牟田支部主催
於 イオンモール大牟田 14:00～16:00

2. 協議事項

- 1：研修旅行会計について
- 2：会計書式について
- 3：新年懇親会について
- 4：その他

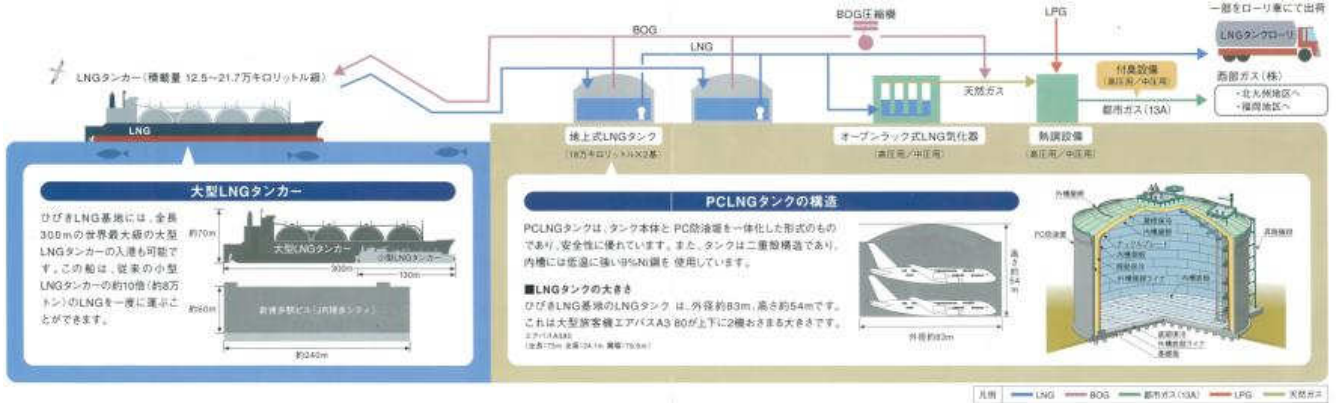


※第9回幹事会の予定（平成24年12月26日(水) 18:30～ 於 事務局会議室）

研修会のご報告

11月1日(木)ひびきLNG基地にて開催

現在、世界で一番大きなタンクを見学。そのスケールに圧倒されました。



研修旅行のご報告（11月11日～12日 竹田市・緒方町）

11月11日(日)～12日(月) 竹田市・緒方町

秋真っ盛りの竹田市・緒方町を訪れました。原尻の滝では空の青と紅葉、そして滝の水の白さのコントラストが映え、まさに秋の風情を堪能する旅行となりました。参加された皆さま、ありがとうございました！



岡城跡



原尻の滝



朝倉文夫記念館(正面)
設計：清家 清



懇親会の風景



五連橋(石造)



全上(側面)



白水の滝



白水ダム



円形分水



全上 説明文



全上 説明文

賛助会からのお知らせ

11月度 研修ツアーのご報告

2012年11月9日(金)今年も建築士事務所協会・士会賛助会主催のバス研修ツアーを開催いたしました。正会員様、賛助会員の皆様にはお忙しい中、たくさんの方々にご参加いただきまして心から感謝致します。特に今年は多くの正会員の方がご参加くださいました。



今回は大分県の㈱三邦様の工場見学を企画いたしました。㈱三邦様は屋根材をはじめ建築関連製品を通じて地域と社会に貢献し、業界の枠にとらわれない新しい未来をみつめています。当日は2班に分かれ、工場見学をさせていただきました。見学に於いて社員の皆様の手厚いお出迎えと分かり易い説明をありがとうございました。

また、工場見学と合わせ「池見家住宅」と「佐野植物園」へも見学に行きました。

見学後にはホテル白菊にて懇親会が行なわれました。㈱オークラの星野会長の素晴らしい余興に続き、毎年恒例となりました賛助会幹事によるプロ顔負けの余興(今年は相撲甚句!)に会場からは大きな拍手が送られました。岩崎専務、近藤社長、素晴らしい相撲甚句ありがとうございました。いつも諸先輩方に助けて頂き感謝しております。次なるスターが誕生するまでは、まだまだご協力お願いします。最後は賛助会恒例の参加者総出の炭坑節で今年のバスツアーの締めとなりました。

最後に準備にご協力頂いた賛助会幹事の皆さん本当にお疲れ様でした。来年も今回以上の研修ツアーになるよう努力致します。お疲れ様でした。

【福岡支部賛助会会長 ㈱アダル 吉元和】

也



第10回賛助会主催講習会を開催いたしました

第10回福岡支部賛助会主催の講習会を開催致しました。

今回は「部分アンカー接合による、枠付鉄骨ブレース耐震補強工法」「塗料による省エネ効果」「フリーアクセスフロア(OAフロア)構成材規格」をタイトル・テーマとして、耐震技術や断熱の方法、OAフロアの知識についての情報をお話させていただきました。当日は25名の方々にご参加いただきました。有り難うございました。

講習会 概要

- 1. 日時 平成24年11月21日(水) 13:30 ~ 17:00
- 2. 場所 福岡建設会館 7階 701号会議室(福岡市博多区博多駅東3丁目14-18)
- 3. 受講料 無料(建築士会会員・事務所協会会員)(非会員1,000円)
- 4. 定員 60名程度
- 5. 講習内容
 - ①「部分アンカー接合による、枠付鉄骨ブレース耐震補強工法」・アンカー工事の削減と居ながら補強への対応
 - ②「塗料による省エネ効果」・遮熱塗料と断熱塗料の違いについてと断熱塗料の紹介
 - ③「フリーアクセスフロア(OAフロア)構成材規格」・製品カタログ表記の性能、数値の決定方法と選定の仕方について
- 6. 講演企業
 - ①宇部興産株式会社 (建設資材メーカー)
 - ②伊藤建材株式会社 (一般建材・輸入建材の販売・施工)
 - ③共同カイトック株式会社 (OAフロア製造・販売・施工)



9

会員動静

会 員 動 静

事 務 所 名	田中不動産	福岡支部
T E L / F A X	FAX/092-595-7000 → FAX/092-596-8000	
事 務 所 名	匠建設株式会社	福岡支部
会 務 代 表 者	古田 耕三 → 江藤 正幸	
事 務 所 名	マツダグミ一級建築士事務所	福岡支部
所 在 地	〒810-0024 福岡市中央区桜坂3-11-20-601 → 〒810-0074 福岡市中央区大手門1-5-6 402号	

新入会員のご紹介

事 務 所 名	大和リース株式会社 北九州営業所	北九州支部にご入会されました よろしくお願ひします！
会 務 代 表 者	長江 和也	
所 在 地	〒802-0002 北九州市小倉北区京町3-14-11	
T E L / F A X	TEL : 093-531-3888 / FAX : 093-531-3880	

「建築士事務所の標識」「建設業の許可票」の価格が改定になりました

この度、原材料費の高騰が続き「建築士事務所登録票」および「建設業の許可票」につきまして、従来の価格を維持することが不可能な事態となりました。

つきましては、誠に申し訳ございませんが

平成24年11月1日より 上記の価格を改定させて頂くことと相成りました。

		現 行	⇒	新価格
建築士事務所の標識	会員価格	10,000円	⇒	12,000円
	一般価格	12,000円	⇒	14,000円
建設業の許可票	会員・一般価格	12,000円	⇒	14,000円

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

販売書籍のご案内

建築士事務所のための業務書式・書籍を販売しています。当協会の会員様は、会員価格での購入が可能です！

- 代金引換でのご発送も承ります（送料…850円）
- 希望される方には注文書をFAXにてお送りいたしますので、お気軽にお問合わせください。

● 四会連合 建築設計・監理業務 委託契約書類	……通常価格 1,200円 →	会員価格 900円
● 業務記録台帳	……通常価格 2,100円 →	会員価格 1,050円
● 建築士事務所のための業務書式 モデル集2008（CD-ROM付）	……通常価格 3,990円 →	会員価格 3,590円
● 改正建築士法による 重要事項説明ポイント	……通常価格 1,300円 →	会員価格 1,170円

事務局 年末年始のお休みについて

年末年始の事務局の休業期間を下記の通りご案内申し上げます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

年末年始休業期間……12月29日（土）～1月6日（日） ※ 福岡建築登録センターも休業させて頂きます。

本年も建築士事務所協会に格別のご高配を賜りましてありがとうございました。

時節柄、皆さまご多忙のことと存じます。くれぐれもお身体にはご自愛くださいませ。来年も建築士事務所協会に相変わらぬお引き立てを頂けますようお願い申し上げます。歳末のご挨拶とさせていただきます。

■ 建築福岡Monthly 記事掲載等のお問い合わせについて

(社)福岡県建築士事務所協会 「建築福岡Monthly」編集担当までご連絡ください。

〔 ■ TEL:092-473-7673 / FAX:092-473-7278 ■ E-mail: info@f-aa.jp/ 〕